

VI. 歴史博物館整備検討事業

昭和 58 年（1983）4 月に設置した久留米文化財収蔵館を中心に、博物館資料の調査・収集・保存・活用を進めている。

資料の収集は、寄贈 12 件（236 点）、寄託 1 件（32 点）、購入 2 件、採集 6 件（29 点）であった。

資料の活用は、貸出 12 件（137 点）、印刷物掲載等 42 件（161 点）、これ以外に研究利用等を目的とした閲覧や写真撮影 18 件（156 点）にも対応している。また、展示公開については、平成 22 年 10 月に開館した久留米市立六ツ門図書館展示コーナーを会場に、文化財保護課主催 2 回、他部局主催 4 回（協働推進部人権啓発センター、環境部環境保全課、都市建設部防災対策課、健康福祉部保健予防課）の企画展を開催した（Ⅶ-1-(1) 24 頁参照）。

1. 資料の収集・保存

（1）収集

①寄贈

資料群名	時代	寄贈者	数量(点)
仮面の忍者赤影関係資料	昭和戦後～平成時代	小澤 太郎	10
厨家資料（美術工芸）	中世～近代	真山 武志	16
青木照夫家資料	昭和戦前	青木 照夫	19
内田和幸家資料	昭和戦前	内田 和幸	21
柿原家資料	昭和戦前	柿原 吉弘	7
戦時国債およびはがき	昭和戦前	藤原 國弘	6
末次家資料	昭和戦前から戦後	末次 辰義	21
松木家資料	江戸	松木 貞次	16
青木照夫家資料	昭和戦前	青木 照夫	1
防衛食容器	昭和戦前	後藤 とみ子	1
蚊帳	昭和戦前	小川 又	1
坂本家資料（第 8 次）	幕末から明治	坂本 暁彦	97

②寄託

資料名	時代	寄託者	数量(点)
坂本家資料（第 2 次）	明治時代	坂本 暁彦	6

③購入

資料名	時代	数量(点)
銘酒清波醸造元江頭本店鳥瞰図	明治時代	1
文字書き人形	幕末頃	1

④採集

資料名	時代	数量(点)
カメラ	昭和～平成時代	3
朝風酒造関係資料	昭和戦後期	26
久留米市長公印	昭和戦前	1
旧三瀧町町旗	平成	2
城島町役場資料	平成	14
鋤	不明	1
吉岡家資料	昭和戦後	8

⑤刊行物

・ 寄贈図書：104 冊

・ 定期購読：24 冊

『月刊文化財』No.643～654（第一法規株式会社）

『博物館研究』Vol. 52・No. 4～Vol. 53・No. 3（公益財団法人日本博物館協会）

（2）保存

①燻蒸

・ 高良内文化財収蔵庫（高良内町字下谷 607）

期 間：平成 29 年 7 月 26 日～27 日

場 所：1 階収蔵庫（679.428 m³）

薬剤等：殺虫・殺卵・殺菌を目的として、燻蒸薬剤ブンガノン（シフェノトリン＋液化炭酸ガス）を使用

・ 三瀧文化財収蔵庫（三瀧町玉満 2942-1）

期 間：平成 29 年 7 月 26 日～27 日

場 所：1 階収蔵庫（1140.6 m³）

薬剤等：殺虫・防虫を目的として、殺虫・殺卵・殺菌を目的として、燻蒸薬剤ブンガノン（シフェノトリン＋液化炭酸ガス）を使用

※収蔵資料の補修については、IV-1-(1) 参照

2. 資料の活用

(1) 貸出 (137 点)

期間	機関名	目的	資料名等	数量
4月1日～ 3月31日	久留米市 人権啓発センター	人権啓発センター常設展示室	太鼓	1
7月15日	久留米市立 御井小学校	久留米空襲についての学習会 で使用	雑のう・千人針・防空 頭巾・爆弾片、他	4
8月1日～ 11月1日	公益財団法人 有馬記念館保存会	企画展「大名有馬家臣団Ⅱ一家 臣の家と古文書」	有馬忠頼知行宛行状、 他	37
8月3日～ 8月9日	個人	空襲体験の語り部で使用	雑のう・千人針・防空 頭巾	3
9月1日～ 12月15日	九州歴史資料館	企画展「福岡県の城—戦国乱世 の城から幕藩体制の城へ—」	延宝八年製図久留米 街図, 巴紋軒丸瓦	2
10月10日～ 12月8日	八代市立博物館未来 の森ミュージアム	平成29年度秋季特別展覧会「大 笠鉦展」への出品のため	久留米祇園祭礼之図	1
10月25日～ 11月6日	久留米市立 屏水中学校	教材として	ちきり・分銅	6
11月1日～ 12月22日	公益財団法人 有馬記念館保存会	企画展「花鳥画の世界」	三谷永就資信「臨画 巻」、他	21
11月15日～ 11月16日	筑後染織共同組合 光延敏郎	久留米縞調査	久留米縞、他	11
12月1日～ 3月30日	大牟田市立三池カル タ・歴史資料館	企画展「大牟田市誕生物語」	電気洗濯機、他	9
1月22日～ 4月20日	公益財団法人 有馬記念館保存会	企画展「姫様のひなまつり」	ひな道具、他	41
2月26日～ 5月31日	佐賀県立 佐賀城本丸歴史館	特別展「肥前さが幕末維新の 『技』—日本の産業革命は佐賀 から始まった—」	田中久重夫妻湿板写 真	1

合計 137 点

(2) 印刷物掲載等 (161 点)

許可日	申請機関等	目的	資料名	点数
5月1日	公益財団法人有馬 記念館保存会	平成29年度有馬記念館年間スケジ ュールに掲載するため	有馬豊氏書状ほか	4

5月29日	個人	西南学院大学講義内での資料紹介	娼妓所得金日記帳	1
6月2日	株式会社ビデオステーションキュー	テレビ西日本報道番組「CUBE」において、久留米城下町の歴史を取材するため	久留米城古写真	1
6月7日	読売新聞西部本社鳥栖支局	読売新聞記事に使用のため	田中久重肖像写真	1
6月21日	株式会社ビデオステーションキュー	テレビ西日本報道番組「CUBE」において、久留米城下町の歴史を取材するため	昭和28年水害関係写真	5
6月28日	八代市立博物館未来の森ミュージアム	八代市立博物館平成29年度秋季特別展覧会「大笠鉾展」展覧会図録及び広報物への写真掲載のため	久留米祇園祭礼之図	1
6月28日	西日本新聞社久留米総局	読売新聞記事に使用のため	田中久重肖像写真、他	4
6月30日	読売新聞久留米支局	平成29年7月3日付読売新聞福岡県版	大石町被災状況	1
7月10日	株式会社テレビ朝日	「クイズプレゼンバラエティーQさま!!」企画で放送のため	田中久重肖像写真	1
7月12日	株式会社MaK Office	「別冊宝島 関ヶ原の戦い 東西名将読本」への掲載	徳川家康書状	1
8月9日	九州朝日放送報道部	KBC テレビ「ニュースピア」放送のため	第12師団司令部写真	1
8月9日	個人	「西日本文化」484号掲載のため	田中久重夫妻湿版写真	1
8月18日	九州歴史資料館	資料館企画展のため	延宝八年製図久留米街図、巴紋軒丸瓦	2
8月3日	個人	平成29年度水の祭典パワーストーリーでの観衆に配布するチラシに使用	写真(バラック9~10の捕虜たち)、他	4
8月24日	一般財団法人西日本文化協会	「西日本文化」秋季号(484号)掲載	書状(品川沖入津露西亞人御屋鋪前行列致見物候次	3

			第)、他	
9月6日	一般財団法人 西 日本文化協会	「西日本文化」秋季号(484号)掲載	写真「明治初期の 久留米城本丸」他	5
9月13日	一般財団法人 西 日本文化協会	「西日本文化」秋季号(484号)掲載	写真「つちや足袋 創始者 倉田雲 平」、他	3
10月2日	公益財団法人 有 馬記念館保存会	企画展「花鳥画の世界—久留米藩御用 絵師の絵画から—」展示にかかる広報 印刷物	三谷永遠就資信 「臨画卷」、他	21
10月10日	個人	牛島謹爾の漫画への使用のため	写真「トラクター と馬車」、他	4
10月18日	個人	土地制度の研究のため、土地家屋調査 士会の研修資料として利用。レジュメ 及びパワーポイントなどに掲載	坂本家屋敷図	1
10月24日	個人	土地制度の研究のため、土地家屋調査 士会の研修資料として利用。レジュメ 及びパワーポイントなどに掲載	久保家屋敷図	1
10月27日	株式会社ネクサス	BS-TBS「にっぽん!歴史鑑定」番組内 で使用	慶長5年(1600) 八月十三日付徳川 家康書状	1
10月30日	公益財団法人 有 馬記念館保存会	企画展「姫様のひなまつり」展示にか かる広報印刷物	ひな道具など	41
11月2日	西日本新聞 久留 米総局	本紙紙面での紹介のため	ポテト王牛島謹爾 翁晩年の肖像写真	1
11月2日	佐賀県立佐賀城本 丸歴史館長	特別展「肥前さが幕末維新の『技』— 日本の産業革命は佐賀から始まった —」に係るリーフレット及び展示パネ ルにて使用するため	田中久重夫妻湿板 写真	1
11月17日	公益財団法人日本 城郭協会	お城 EXPO2017 に展示の解説パネルに 使用するため	久留米城巽櫓石垣 写真	1
11月17日	株式会社アッシュ	(株)デアゴスティーニ・ジャパン発行『必 殺仕事人 DVD コレクション』内「江戸 の仕事人たち」の章に使用	田中久重胸像写真	1
12月1日	個人	西南学院大学講義内での資料紹介	娼妓所得金日記帳	1

12月1日	ロントラ株式会社	BS ジャパン「知る食うロード」放送のため	創立当初の九州医専	2
12月14日	個人	中国青島への研修旅行の資料に使用	写真「鉄条網を張った川（青島）」	1
1月12日	個人	調査・研究のため	ひな道具 庖厨具	1
2月20日	柳川市教育委員会	柳川の歴史1『柳川の成り立ち』図版へ掲載	鬼夜、御塚・権現塚古墳俯瞰写真	2
3月1日	柳川市教育委員会	柳川の歴史1『柳川の成り立ち』図版へ掲載	筑後国三妻郡玉垂宮并大善寺仏神事記文	1
3月13日	公益財団法人 有馬記念館保存会	企画展「大名有馬家の武具甲冑」展示にかかる広報印刷物	桐花透し鐔など	4
3月13日	公益財団法人 有馬記念館保存会	平成30年度有馬記念館年間スケジュールに掲載するため	練革黒漆塗白糸威五枚胴具足など	5
3月16日	株式会社ネクサス	テレビ番組「石坂浩二のニッポン凄い人名鑑」（平成30年4月1日21時～）で放映	弓曳き童子	1
3月15日	株式会社平凡社	新戸雅章著『江戸の科学者＝西洋に臨んだ異才たち』掲載	田中久重作「文字書き人形」	1
3月22日	有限会社海鳥社	古賀正美著・海鳥社発行『久留米城と城下町（仮題）』掲載のため	宮殿有志名簿記、他	23
3月26日	株式会社 碧水社	週刊ビジュアル戦国王第96号の大友義鑑紹介記事に掲載	大友義鑑感状	1
3月27日	福岡県立青少年科学館	ロボット・科学技術コーナーで展示	田中久重肖像写真・弓曳き童子	2
3月27日	WEB 工房ツイズネット	日吉コミュニティセンター紹介動画作成のため	旧西鉄久留米駅構内、他	4

上記のほか撮影のみ18件

(156点)

合計 161点

VII. 文化財の活用・周知普及

1. 公開・活用事業

(1) 久留米市立六ツ門図書館展示コーナー

平成 22 年 10 月、久留米市立中央図書館西分館が「くるめりあ六ツ門」5階に移転し、六ツ門図書館として開館した。この館内に展示コーナーが設置され、当課が運営を担当している。

同展示コーナーは、100 m²を常設展、168 m²を企画展のスペースとする。常設展は、造り付けの居間および台所に、家具や生活用品などを揃えて、昭和 30 年代の暮らしの風景を再現している。企画展は、平成 29 年度は当課主催 2 回、他部局主催 4 回を開催した。

平成 29 年度企画展一覧

No.	展示会名	会期	来場者数(人)
1	自殺対策月間パネル展	4月1日～4月13日 ※会期3月15日から	124
2	消費者啓発パネル展	4月15日～5月14日	344
3	輝く～スポーツと人権～展	5月17日～6月18日	374
4	平和資料展 軍都久留米の風景と暮らし	7月8日～9月24日	4,171
5	ぐるぐるめぐる みずのみち展	10月11日～11月5日	497
6	むかしの暮らし展 くるめ今昔写真館	11月25日～3月25日	6,894
7	常設展示	4月1日～3月31日	449

合計 12,853 人

*主催は、1は健康福祉部保険予防課、2は協働推進部消費生活センター、3は協働推進部人権啓発センター、5は上下水道部営業管理課、4・6・7は文化財保護課

*常設展示「昭和30年代の暮らし」(上記1～6の会期以外)

(2) 久留米市埋蔵文化財センター

①企画展

- ・ 山川校区の歴史展

会 場：山川校区コミュニティセンター

期 間：平成 29 年 8 月 2 日（水）～8 月 30 日（水）

見学者数：83 名

②体験イベント

- ・ 協賛イベント

◆ 『みづま祭り』— 勾玉をつくろう—

会 場：水沼の里 2000 年記念の森公園

期 日：平成 29 年 11 月 4 日（土）・5 日（日）

内 容：古代体験、勾玉づくり

参加者数：140 名

(3) 坂本繁二郎生家活用事業

坂本繁二郎生家は、近代洋画の巨匠である坂本繁二郎の生家であるのと同時に久留米市に唯一残る武家屋敷である。その地域的重要性を検討して平成 15 年 7 月に久留米市有形文化財（建造物）に指定された。平成 18 年度から平成 21 年度までの 4 年間をかけて修理復原工事を行い、平成 22 年 5 月 1 日から一般公開をしている。生家では、年間を通じて様々な体験講座を開催しており、文化財の周知普及に努めている。

【年間来場者数】 5,232 人（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

【開館日数】 305 日 1 日平均来場者数：20 人（小数点以下四捨五入）

<季節行事>

七夕まつり	期間：平成 29 年 7 月 1 日（土）～8 月 6 日（日） 対象：一般 入場料：通常通り（短冊を飾りに来た場合は無料） 内容：願い事を書いた短冊を笹竹に飾る。	538 人
ひなまつり	日時：平成 30 年 2 月 6 日（火）～4 月 1 日（日） 対象：一般 入場料：通常通り 内容：坂本家に伝わる雛人形を展示し、期間中に体験事業・生誕記念コンサート・お茶会を実施。	1,130 人

<お茶会>

お茶を楽しむ会	<p>日時：平成30年3月25日（日）10時～15時 主催：江戸千家久留米不白会 共催：文化財保護課 対象：一般 茶券：一般500円、中学生以下300円 ※入場料（団体料金）を含む。</p>	103人
---------	---	------

<ミニコンサート>

七夕ナイト	<p>日時：平成29年7月22日（土）19時～21時 演者：代表 松本 久実子 氏（京泉会） 対象：一般 入場料・参加費：無料 内容：生家の庭を竹燈籠とペットボトルキャンドルで彩る。 19時30分から一時間程度、大正琴の演奏を行う。</p>	107人
生誕記念 コンサート	<p>日時：平成30年3月3日（土）14時～15時 演者：浦田兄弟 対象：一般 入場料・参加費：無料 内容：生家の雰囲気に合わせて楽曲を演奏し、繁二郎の生誕を祝う。</p>	46人

<体験事業>

茶レンジ！ こども茶会	<p>日時：平成29年6月25日（日）10時～12時 講師：森田 宗尚 氏 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：お茶の作法について先生から学ぶ。</p>	32人
流しそうめんを 食べよう	<p>日時：平成29年8月19日（土）10時～12時 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：青竹で箸と器を作って、地元住民と一緒に流しそうめんを 食べて楽しむ。</p>	55人
画伯に チャレンジ！	<p>日時：平成29年11月19日（日）10時～15時 講師：宇美 拓哉 氏 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：生家・庭の中からテーマを決めて絵を描く。</p>	14人
餅つき大会	<p>日時：平成29年12月16日（土）10時～12時 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：地元住民とともに、餅つきをして、ついた餅を食べる。</p>	90人
けん玉で遊ぼう	<p>日時：平成30年2月17日（土）14時00分～16時00分 講師：横道 勝紀 氏 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：けん玉を使った様々な遊びを体験する。</p>	22人

<落語>

素人落語寄席	日時：平成 30 年 1 月 20 日（土）14 時～16 時 対象：一般 入場料・参加費：無料 内容：久留米落語長屋による寄席	103 人
--------	--	-------

（４）特別展「みる、きく、そうぞうする - 緋と機巧 - 」

江戸時代後期に久留米で生まれた、久留米緋の創始者である井上传と、東芝の創業者の一人である田中久重の偉業や作品を通し、来場者が「観る・聴く・触れる」などの方法で作品を体感し、緋と機巧（からくり）の技に親しみを抱ける企画を行った。

- ・期 間 平成 30 年 1 月 2 日（火）～1 月 10 日（水）10 時～17 時 *会期中無休
- ・会 場 久留米シティプラザ 展示室
- ・参加者 2,702 名
- ・入場料 無料
- ・からくり人形の実演 1 月 2・3・7 日 11 時～・14 時～（各回 30 分程度）

（５）第 5 回からくり儀右衛門大賞小中学生創作作品展

郷土の偉人、「からくり儀右衛門」こと田中久重の業績を顕彰し、「ものづくりのまち久留米」の次代を担う久留米市の全小・中学校の児童・生徒に、創作の喜びを体感することを促すことを目的とする。「久留米市理科作品展」に出品された創作部門の作品の中から、「からくり儀右衛門大賞」として、市長賞、教育長賞、久留米工業大学賞の受賞作品を選考する。受賞作品は久留米シティプラザを会場として展示会を開催した後、同会場にて表彰式を行う。

- ・期 間：平成 29 年 9 月 13 日（水）～9 月 17 日（日）
- ・会 場：久留米シティプラザ展示室
- ・見学者数：167 名
- ・表彰式：平成 29 年 9 月 17 日（日） 15 時 30 分～16 時 00 分 台風接近により中止。

（６）歴史探訪

久留米市出身の偉人について理解を深めることを目的として、本年度、購入した田中久重作のからくり人形「文字書き人形」の公開を兼ねた企画展「みる、きく、そうぞうする - 機巧と緋 - 」の開会に先立って、田中久重及び井上传のゆかりの地を巡り、郷土の偉人の足跡を巡った。

- ・期 日 平成 29 年 11 月 26 日（日） 9:00～12:00
- ・参加者 32 名
- ・参加費 無料
- ・行 程 ①田中久重生誕地、②五穀神社、③鑄砲所址、④地場産くるめ、⑤松枝哲哉氏工房などを見学する。

2. 協働・支援活動

(1) 出前講座

市民向け講座として実施している「出前講座」は、全庁的に取組んでいる制度で、文化財保護課では「私のまちの歴史と文化財」「歴史を体験」の2つのメニューを受け持っている。

① 私のまちの歴史と文化財

開催回数：34回

受講人数：1,167名

主な内容：校区コミュニティセンター主催の講座や市民団体、学校を中心に、校区の歴史、久留米市の歴史、またテーマを設けて講座を開催。

② 歴史を体験

開催回数：5回

受講人数：201名

主な内容：小学校や校区コミュニティセンターにおいて、火起こし・勾玉作り・石臼によるきな粉作りなどの体験学習を開催。

(2) 実習受け入れ

受入期間：平成29年8月17日～25日（うち7日間）

受入人数：久留米大学4名

受入施設：久留米市埋蔵文化財センター、久留米文化財収蔵館ほか

3. 刊行物

(1) 久留米市文化財調査報告書

15冊の文化財調査報告書、および平成28年度分の文化財保護課年報を刊行

- 第386集 『筑後国府跡-第286次発掘調査報告-』 平成29年8月
 - 第387集 『十間屋敷遺跡-第6次発掘調査報告-』 平成29年10月
 - 第388集 『筑後国府跡-第287次発掘調査報告-』 平成29年10月
 - 第389集 『十間屋敷遺跡-第7次発掘調査報告-』 平成29年11月
 - 第390集 『筑後国府跡-第288次発掘調査報告-』 平成29年12月
 - 第391集 『十間屋敷遺跡-第8次発掘調査報告-』 平成29年12月
 - 第392集 『筑後国府跡-第289次発掘調査報告-』 平成30年3月
 - 第393集 『汐入遺跡-第2・3次発掘調査報告-』 平成30年3月
 - 第394集 『へボノ木遺跡-第73次発掘調査報告-』 平成30年3月
 - 第395集 『麓遺跡-第1次発掘調査報告-』 平成30年3月
 - 第396集 『古町遺跡-第1次調査概要報告-』 平成30年3月
 - 第397集 『久留米市埋蔵文化財調査集報XVIII』 平成30年3月
 - 第398集 『野口遺跡-第2次発掘調査報告石器編-』 平成30年3月
 - 第399集 『筑後国府後-II期政庁地区-写真図版編』 平成30年3月
 - 第400集 『平成29年度久留米市内遺跡群』 平成30年3月
- 久留米市文化財保護課年報 Vol.13 『平成28年度版』 平成30年3月

(2) その他の刊行物

①歴史散歩

久留米市では、市民向けに郷土の文化財を解説する冊子を作成している。本年度は、No.43として『平和への祈り・久留米の戦争遺跡(4)―軍都久留米編―』を刊行した。

②文化財マップ

文化財マップは、小学校校区毎の文化財の位置と解説を入れたもので、本年度は、三潞校区の文化財マップを作成した。

③収蔵館ニュース

久留米市文化財収蔵資料の調査・収集・保存・活用について紹介するため、平成元年度より年1回発行。同17年度に『仮称 久留米歴史博物館準備だより』より改題。平成29年度は第14号を発行(改題通算40号)。

(3) 文化財説明板作成設置

本年度は「伯東寺の輪蔵」、「赤司八幡宮」、「犬塚城跡」の3件について、実施した。

- 田主丸町「伯東寺の輪蔵」・・・市指定有形民俗文化財。説明板の撤去及び新設。
- 北野町「赤司八幡宮」・・・説明板の劣化による改修。
- 三潞町「犬塚城跡」・・・説明板の劣化による改修

報告（２） 平成30年度の事業概要

I. 文化財保護課の体制

久留米市 〒830-8520 久留米市城南町15-3 bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp					
	課長	チームリーダー	事務職	専門職	
<p>市長 大久保 勉 副市長 中島 年隆 森 望</p> <p>教育長 大津 秀明 0942-30-9000</p> <p>市民文化部 (市長部局) 市民文化部長 松野 誠彦 文化芸術担当部長 宮原 義治 市民文化部次長 西村 信二</p> <p>文化財保護課 0942-30-9225 (埋文) 0942-30-9322 (保護) 0942-30-9323 (管理) FAX 0942-30-9714</p> <p>埋蔵文化財センター 0942-34-4995 FAX 0942-34-5045</p> <p>文化財収蔵館 0942-38-6194 FAX 0942-34-5045</p> <p>西町発掘調査事務所 TEL/FAX 0942-37-7687</p> <p>六ツ門図書館展示コーナー 0942-27-9281 FAX 0942-27-7281</p>	文化財保護課	埋蔵文化財 課長補佐 久保田 由美		主査 水原 道範 事前確認 事務主査 塚本 映子 小澤 太郎 西町発掘調査事務所 江頭 俊介 西 拓巳 小川原 励 大隈 彩未 長谷川 桃子 米澤 美詠子(専) 宮崎 彩香(専) 今村 理恵(専) 埋蔵文化財センター 熊代 昌之	
		課長兼埋蔵文化財 センター所長 水島 秀雄	文化財保存活用 課長補佐(兼)主査 丸林 禎彦		本田 岳秋 江島 伸彦 神保 公久 穴井 綾香 廣木 誠 文化財収蔵館 寺崎 勝美(囁) 石橋 久美子(専) 石橋 裕佳(専) 六ツ門図書館展示コーナー 中村 吉文(再) 二村 智治(囁)
			文化財管理 課長補佐(兼)主査 白木 守	事務主査 岡崎 明美 市村 久美子 倉吉 孝道 石松 眞知 内堀 一弘 古賀 文子(任) 野間 華(任)	
		(公財)久留米耕技術保存会 事務局次長 水島 秀雄	事務局次長 丸林 禎彦	大藪 住江	
	(公財)有馬記念館保存会 事務局次長 水島 秀雄	事務局次長 白木 守	岡崎 明美 内堀 一弘	神保 公久 穴井 綾香	

(再)は再任用職員、(囁)は囁託職員、(専)は専任非常勤職員、(任)は任期付非常勤職員の略。

Ⅱ. 埋蔵文化財調査事業

1. 事前確認及び発掘調査事業

ここ数年民間開発に伴う分譲・宅地造成・マンション建設に伴う発掘調査が依然として増加傾向にある。窓口での「埋蔵文化財包蔵の有無についての照会」（事前確認）は、前年比1.2倍と増加傾向にある。また、市街地の小学校建て替えに伴う調査も32年度まで予定されており、公共・民間事業共に減少の兆しは見られない。

10月現在発掘調査中および調査予定の遺跡

調査番号	遺跡名	調査期間	担当者
201801	久留米城下町遺跡 第29次調査	平成30年4月11日～平成30年6月14日	江頭
201802	鎌水遺跡 第1次調査	平成30年4月17日～平成30年10月30日	西
201803	大木下遺跡 第1次調査	平成30年4月23日～平成30年5月25日	大隈
201804	筑後国府跡 第292次調査	平成30年5月15日～平成30年5月22日	小川原
201805	十間屋敷遺跡 第10次調査	平成30年6月11日～平成30年10月12日	大隈・長谷川
201806	庄島侍屋敷遺跡 第12次調査	平成30年7月2日～平成30年9月3日	小川原
201807	南薫西遺跡	平成30年11月中旬～	江頭
	安武遺跡群	平成31年2月～	西
	安武遺跡群	平成31年2月～	小川原
	速水遺跡	平成31年2月～	大隈

2. 埋蔵文化財センター

平成27年度から実施している国庫補助事業の「地域の特性を活かした埋蔵文化財活用事業」では、筑後国府跡の再整理に着手しており、平成28年度末にⅠ期政庁地区の報告書を、平成29年度末にⅡ期政庁地区写真図版編を刊行し、引き続き整理作業を実施している。

今年度は、継続し、阿弥陀地区の出土資料を再点検し、報告書を発行する予定である。また、今年度より国司館地区の整理も開始している。

この他、前年度同様、発掘調査および報告書が刊行された遺跡について、出土品を含む記録類の受け入れを行い、資料の貸出や閲覧に対応できるよう情報を管理し、収蔵する。

Ⅲ. 文化財保存・整備事業

本年度に係る事業は、美術品1点の修復、建造物関連事業2件、民俗文化財保存事業2件、歴史資料調査事業1件、史跡等の整備に係る事業3件、名勝・天然記念物保存事業3件である。

1. 有形文化財

(1) 収蔵資料補修事業

平成30年度の収蔵資料補修事業は、紙本墨書 覚「献上金預り置」他11点について実施する。補修は熊本市の富永米山堂へ委託する予定である。

巻物を解装し、12点のうち11点はマット装とする。通番12の資料は横幅が長いいため簡易卷子装(表紙と軸は付けずに紙管に巻き、覆表紙で包み巻き紙箱に保存収納)とする。11点は旧裏打ち紙を除去し、周りに和紙で保護紙をつけて裏打ちを行う。通番12の資料は保護紙を周りに付け裏打ちを行い、折り伏せを入れる。天地のみわずかに残し断ち仕上げる。

中性紙の台紙、マット、表紙(和紙)を作り、この間に挟みマット装とし収納保存を行う。台紙寸法は2種類(40×50cmと30×70cm)とする。マットの窓の大きさは本紙より少し大きく開ける。紙箱は4箱新調する。(約40×50cm1箱、約30×70cm2箱、簡易卷子装1箱)出し入れを容易にするためにリフト(持ち上げ用の紐つきの台紙)を底に入れる。

(2) 建造物関連事業

①歴史的建造物等調査事業

本事業では、国の登録有形文化財候補となっている久留米大学医学部本館、日本本福音ルーテル久留米協会の調査を行う予定である。ルーテル教会については、平成26年に建造物調査を実施しており、今回は建物の補足調査及び敷地を区画する煉瓦塀の調査を実施する。

(3) 史料調査事業

①高良大社歴史資料調査事業

高良大社歴史資料の悉皆調査及び保存整備を目的として事業を推進し、平成31年度に報告書を刊行する。事業2年目となる平成30年度には、近代文書・美術工芸品・考古資料・幣殿・拝殿の天井絵等について、クリーニング・調書作成・概要写真撮影及び目録作成等を実施する予定である。

2. 記念物

(1) 史跡等の整備に係る事業

①筑後国府跡歴史公園整備事業

平成 30 年度は、次年度公有化に向けて用地交渉を継続し、Ⅱ期政庁（阿弥陀）地区で物件調査等を実施する。また、6月に「所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法」が公布されたため、法務局と連携しつつ、一部の相続未了地について所有者探索を進める。なお、現在の公有化面積は、36,174.62㎡（台帳及び実測面積）で、国・市有地を含めると公有化率は、85.71%となっている。

②史跡筑後国府跡保存活用計画策定事業

平成 30 年度から国庫補助事業として、2か年計画で事業に着手する。本年度は計画検討の基礎資料となる地形図を作成し、指導委員会を設置する。次年度には委員会による審議を継続し、31年度末に計画書を刊行予定である。

③史跡下馬場古墳石室内環境調査

本調査は保護施設の老朽化による石室内への温湿度の影響と、将来の古墳公開のあり方を考えるための基礎データ取得を目的とし、平成 26 年 9 月から平成 30 年 4 月に実施した。結果、温度変化に関しては、外気と比較して覆屋及び石室内は非常に安定していることが判明した。相対湿度は、石室内は常に湿度が高い状態であり、玄室天井部は外気の影響を受けにくく、その傾向が顕著である。一方、覆屋入り口付近は外部の影響を受けやすいことも把握できた。表面温度については、データロガーの電圧低下により一部データが欠損していた。このため、30 年度に補足調査を実施する。

（2）名勝・天然記念物保存事業

①県指定天然記念物「善導寺の大クス」再生（樹勢回復）事業

平成 29 年度から、4 ヵ年事業として開始した。本年度は、主幹開口部の腐朽箇所の洗浄、腐朽抑制のための焼入れ及び墨石液塗布を行う。また、危険枝の剪定とヤドリギの抜根を実施予定である。

②県指定天然記念物「柳坂曾根のハゼ並木」剪定事業

例年 1 月下旬から 2 月上旬に実施しており、地元と協力を図り、剪定作業を実施する。

③市指定史跡天然記念物「目安町の一里塚」撤去事業

平成 30 年 10 月 15 日に、西側幹が枯死により折損した。翌日より撤去作業を開始し、18 日に撤去作業を完了した。



エノキ折損状況（南から）



エノキ折損状況詳細（北東から）

IV. 文化財の活用・周知普及

1. 公開活用事業

(1) 久留米市六ツ門図書館展示コーナー

六ツ門図書館展示コーナーは、平成 22 年 10 月の開館以来、毎年 1 万 2 千人を超える来場者を数えている。平成 28 年度には、累計入館者数が 10 万人を達成した。平成 30 年度は、当課主催企画展を 2 回開催し、更なる歴史文化の周知普及をすすめる。なお、企画展の会期以外では、例年のように、他部局主催の展示を行う予定である。

① 企画展「濁流天に満つー筑後川水害とくるめの人々ー」

会期：平成 30 年 7 月 7 日（土）～平成 30 年 9 月 24 日（月）

主旨：この企画展では、久留米市が所蔵する初公開の水害の写真約 50 点に加え、被害実態を伝える古文書や絵図など関連資料 40 点を展示し（パネル含む）、筑後川流域でくり返された水害の歴史をたどる。また、復元された住宅では昭和 28 年前後の一般家庭の暮らしを再現するほか、証言パネルは荒木空襲や久留米空襲の体験者によるものを中心とし、昭和 20 年代に相次いで郷土を襲った災禍の中、力強く復興へ歩む先人の姿に思いを馳せることができる。

②むかしの暮らし展 学校のたからもの2

会期：平成 30 年 11 月 23 日（金）～平成 31 年 3 月 24 日（日）

主旨：例年、小学 3 年生の社会科学習の「むかしの暮らし」単元に合わせ、久留米の昔の暮らしをテーマとする展示会を実施している。本年度は生活スタイルの変化の中、忘れ去られようとしている年中行事と祭りをとりあげる。展示にあたっては、市内外の小学校との連携を図り、学校教育を支援する。また、介護施設などに入所する高齢者の記憶を呼び起こし、思い出を語り合う回想法の場としての広報を行い、団体客の利用を促進する。

六ツ門図書館展示コーナーにおける他部局実施展示一覧(平成 30 年度)

会期	展示会名	主催	入場者数(人)
4月6日～4月22日	世界人権宣言展	協働推進部 人権啓発センター	196人
4月25日～6月17日	防災展	都市建設部防災対策課	1163人
10月10日～11月4日	くるめの上下水道展 わたしたちの暮らしと上下水道	上下水道部営業管理課	開催中

(2) 久留米市埋蔵文化財センター

普及事業としては、通年において収蔵資料の貸し出し及び閲覧に対応できる体制を整える。

また、展示会等の公開事業としては、常設展示を行う。

体験イベントとしては、11月3・4日「みづま祭り」において『勾玉づくり』のブースを設け、140名の市民に体験してもらい、文化財の普及・啓発を行う。

平成31年2月15日(金)～28(木)に三潁生涯学習センターを会場として、「三潁の歴史展」を開催する。三潁校区の発掘調査の成果や地元に残る史跡を紹介した企画展を開催する予定である。

(3) 坂本繁二郎生家活用事業

坂本繁二郎生家は、近代洋画の巨匠である坂本繁二郎の生家であるのと同時に久留米市に唯一残る武家屋敷である。その地域的重要性を検討して平成15年7月に久留米市有形文化財(建造物)に指定された。平成18年度から平成21年度までの4年間をかけて修理復原工事を行い、平成22年5月1日から一般公開をしている。生家では、年間を通じて様々な体験講座を開催しており、文化財の周知普及に努めている。

【目標】年間来場者数：7,500人(平成30年4月1日～平成31年3月31日)前年実績程度

【開館日数】307日

<季節行事>

七夕まつり	期間：平成30年7月7日(土)～8月5日(日) 対象：一般 入場料：通常通り(短冊を飾りに来た場合は無料) 内容：願い事を書いた短冊を笹竹に飾る。	413人 (実績)
ひなまつり	日時：平成31年1月29日(火)～3月31日(日) 対象：一般 入場料：通常通り 内容：坂本家に伝わる雛人形を展示し、期間中に体験事業・生誕記念コンサート・お茶会を実施。	1,500人 (見込)

<お茶会>

お茶を楽しむ会	日時：平成31年3月21日(木、祝)10時～15時 主催：江戸千家久留米不白会 共催：文化財保護課 対象：一般 茶券：一般500円、中学生以下300円 ※入場料(団体料金)を含む。	80人 (見込)
---------	--	-------------

<ミニコンサート>

七夕ナイト	日時：平成 29 年 7 月 21 日（土）19 時～21 時 演者：代表 松本 久実子 氏（京泉会） 対象：一般 入場料・参加費：無料 内容：生家の庭を竹燈籠とペットボトルキャンドルで彩る。 19 時 30 分から一時間程度、大正琴の演奏を行う。	91 人 (実績)
生誕記念 コンサート	日時：平成 31 年 3 月 9 日（土）14 時～15 時 演者：未定 対象：一般 入場料・参加費：無料	50 人 (見込)

<体験事業>

茶レンジ！ こども茶会	日時：平成 30 年 6 月 23 日（土）10 時～12 時 講師：森田 宗尚 氏 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：お茶の作法について先生から学ぶ。	39 人 (実績)
流しそうめんを 食べよう	日時：平成 30 年 8 月 19 日（日）10 時～12 時 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：青竹で箸と器を作って、地元住民と一緒に流しそうめんを 食べて楽しむ。	150 人 (実績)
餅つき大会	日時：平成 30 年 12 月 16 日（日）10 時～12 時 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：地元住民とともに、餅つきをして、ついた餅を食べる。	80 人 (見込)
書初め	日時：平成 31 年 1 月 26 日（土）10 時～12 時 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：干支の「亥」をデザイン文字にして書く。	30 人 (見込)
けん玉で遊ぼう	日時：平成 30 年 2 月 16 日（土）10 時～12 時 講師：横道 勝紀 氏 対象：小学生 入場料・参加費：無料 内容：けん玉を使った様々な遊びを楽しむ。	20 人 (見込)

(4) 特別展「行きかう・にぎわうー交流拠点都市の系譜ー」

久留米地域は、古代以来、政治経済・文化交通の要衝として発展してきた。その長い歴史とともに生み出され、残されてきた多様な歴史資料の数々を、「陸の道、河川の道」「行きかうモノ・人・文化」「都市のあゆみ」をキーワードに公開し、交流拠点都市としての久留米の歴史を紹介する。

期 間 平成 30 年 8 月 25 日（土）～平成 30 年 9 月 3 日（月）＊会期中無休

会 場 久留米シティプラザ 展示室 入場料 無料

(5) 三瀧の歴史展

29年度に作成した「三瀧町（犬塚・西牟田・三瀧）校区」の内容を中心に、校区内の文化財を紹介する。

期 間 平成30年12月15日（金）～2月27日（水）9時～17時

会 場 三瀧町生涯学習センター

休館日 月曜日

(6) 歴史探訪

文化財の周知と普及を図るため、身近な遺跡等を巡るバスツアーを実施する。

期 日 平成30年11月11日（日）

定 員 40人程度 費 用 参加費は無料

2. 協働・支援活動

(1) 出前講座

市民向け講座として全庁的に取り組む「出前講座」では、文化財保護課は次の2メニューを受け持つ。

- ① 私のまちの歴史と文化財
- ② 歴史を体験

(2) 実習受け入れ

受入期間：平成30年8月16日～24日（うち7日間）

受入人数：久留米大学3名

受入施設：久留米文化財収蔵館、久留米市埋蔵文化財センターほか

3. 刊行物

(1) 久留米市文化財調査報告書

第401集	『玉満松木ソノ遺跡 - 第2～4次調査 - 』	平成30年9月
第402集	『天神免遺跡 - 第1～3次調査 - 』	平成30年9月
第403集	『白川遺跡 - 第11～17次調査 - 』	平成30年12月
第404集	『東野亭窯跡遺跡 - 第1次調査 - 』	平成31年1月
第405集	『高三瀧遺跡 - 第6～8次調査 - 』	平成31年2月
第406集	『平成30年度 久留米市内遺跡群』	平成31年2月
第407集	『久留米城下町遺跡 - 第27次調査 - 』	平成31年3月
第408集	『久留米城下町遺跡 - 第28次調査 - 』	平成31年3月

第 409 集	『久留米城下町遺跡 - 第 29 次調査 - 』	平成 31 年 3 月
第 410 集	『大木下遺跡-第 1 次調査-』	平成 31 年 3 月
第 411 集	『白川遺跡-第 18 次調査-』	平成 31 年 3 月
第 412 集	『平成 30 年度 久留米市内遺跡群』	平成 31 年 3 月

以上を刊行する予定である。

(2) その他の刊行物

- ・歴史散歩 1 冊「筑後将士軍談にみえる城館」
- ・文化財マップ「安武校区の文化財」
- ・収蔵館ニュース

(3) 文化財説明板作成設置

例年、久留米市内の指定文化財を中心に、文化財を解説する案内板を設置・修繕している。

本年度は「上野家住宅御成間」、「上野家庭園」、「群境石」、「横馬場の地藏菩薩彫像板碑」について文化財説明板を修繕予定。

報告（3） 次年度以降の諮問予定資料について

① 虫追い祭り

平成 27 年度に保存団体である J A にじ青年部から、市指定文化財への打診があった。田主丸町の年中行事として、少なくとも江戸時代より行われていることが『石原家記』の資料から伺える。戦後、一時、中断していたが、J A にじ青年部によって 3 年に一度の開催として再開された。本来の祭りとは開催方法などで異なる部分はあるが、虫追い祭りに不可欠な平氏と源氏の人形、馬は踏襲されている。27 年度の文化財専門委員会でも説明。

② 田中久重関係資料

久留米出身の発明家、からくり儀右衛門こと田中久重に関する資料で、市が収集を予定している資料について検討中。29 年度に購入した、からくり人形「文字書き人形」についても検討。

③ 正福寺遺跡出土資料

平成 15・16 年度に実施した低湿地の調査で、縄文時代後期のイチイガシを中心とした堅果類の貯蔵穴 60 基近くを検出。160 点を超える編みかごなどの編組成品や、杓状（しゃくじょう）木製品、石斧が装着された状態の直柄（なおえ）などが出土。

④ 久保遺跡出土の土器群

城島町に所在する遺跡。平成 15・16 年度の調査で、弥生時代早期にあたる黒色磨研（まけん）土器が 50 点近く出土しており、朝鮮半島との関連が指摘される遺跡でもある。

候補② 田中久重作「文字書き人形」

資料名：文字書き人形（からくり人形）

制作者：田中久重

制作年代：1830年代か

所有者：久留米市教育委員会



資料の概要：

「弓曳き童子」（平成26年度・久留米市有形文化財に指定）と並んで田中久重のからくり作品の最高傑作とされるもので、ゼンマイを動力とし、青年人形が紙に文字を揮毫するからくり人形。筆に墨を含ませる動作に始まり、単なる一筆書きでなく、一旦、用紙から筆を離して運筆する動作に合わせて顔が動くようすなど、人形がまるで生きているかのように自然に動き、人々を驚かせることができる。カムと呼ばれる装置の組み合わせを変えることによって、「松」「竹」「梅」「寿」の4文字を書くことが可能。

町十丁目の鼈甲細工師の家に生まれる。幼少期から発明工夫を得意とし、若くして近くの五穀神社で行われた祭礼のからくり屋台などで人々を驚かせ、「からくり儀右衛門」と呼ばれる。また20代から30代前半にかけて、大坂・江戸など各地でからくり興行を行い、36歳で大坂に移住して懐中燭台などを発明。さらに京都に移り住んだ後も、無尽灯の発明や、からくり時計の最高傑作といわれる万年自鳴鐘を完成させる。

その後、55歳で佐賀藩精煉方に召抱えられ、蒸気車や蒸気船の雛形（模型）を製作。久留米に移り住んだ後も大砲の鑄造などに携わり、日本の近代化の発展に大きな役割を果たす。そして75歳にして上京し、電信機などの製造を開始。明治8年、銀座に構えた店舗兼工場は、後の世界的な電気機器メーカー東芝の前身となった。